

厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）  
分担研究報告書

介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究

研究分担者 酒井 孝文 宝塚医療大学保健医療学部・教授

研究要旨 介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するためには高齢者の診察にあたるリハビリテーション科医、各疾患領域の医師や医師以外の医療職種が適切にリハビリテーションを提供できるようにする必要がある。本研究で介護保険制度のもとで適切なリハビリテーションが提供できるように手引書を作成する。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名

(分担研究報告書の場合は、省略)

A. 研究目的

本研究の主目的は介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することである。

B. 研究方法

2021年度までに遂行し手引書作成のための大項目3章、中項目合計18項、小項目合計50項を抽出した。これらの項目に沿って手引書の作成をおこなうこととした。この中で中項目2項の執筆を担当することとなった。  
(倫理面への配慮)  
岩手医科大学の倫理審査の承認を得た。

C. 研究結果

第1章、高齢者の身体機能を高める方法についての、関節可動域の拡大、ADL（日常生活動作）訓練の執筆を担当した。

D. 考察

昨今のCOVID-19関連による様々な問題等で研究の進行が若干遅れも生じたが、担当部分の執筆を遂行することができた。

E. 結論

介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することができた。

F. 健康危険情報

(分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

1. 論文発表  
なし
2. 学会発表  
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況  
(予定を含む。)

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

作成上の留意事項

1. 「A. 研究目的」について  
・厚生労働行政の課題との関連性を含めて記入すること。
2. 「B. 研究方法」について  
(1) 実施経過が分かるように具体的に記入すること。